

活動実績一覧

グループ1（活動期間：平成19年度～20年度）

グループ構成	活動内容
5名	<p>■テーマ「人口増加策について」</p> <p>本市は他地域と比べても、人々を惹きつけ、定住人口を維持もしくは増加させる可能性を十分に持っているのではないかとの思いから、「人口増加策について」というテーマを設定し、特に、地域における経済活動やまちづくりの中心的役割などを担う生産年齢人口の増加、流出抑制のための課題等を整理し、施策について調査研究を行った。</p>

グループ2（活動期間：平成20年度～21年度）

グループ構成	活動内容
6名	<p>■テーマ「市民と来訪者の呼びとめ策」</p> <p>諫早市は交通の要衝であるにもかかわらず「単なる通過点の街」になっているのではという危惧から、「人々の足を止めよう」という発想と、「まずは市民の流出を止めて余暇を諫早市で楽しんでもらおう」、「市民だけでなく市外から来る人も呼び止めよう」という「夢」を柱にしてテーマを掲げ、市内にすでにある施設をはじめ地域資源の掘り起こしを行い、それらを「魅力ある施設」として活かすための研究を行った。</p>

グループ3（活動期間：平成23年度～24年度）

グループ構成	活動内容
5名	<p>■テーマ「楽しめる諫早市」を目指した情報発信策について</p> <p>諫早市では実施が決定している大きなプロジェクトがいくつもあり（国体、新幹線等々）今の景色や暮らしにも大きな変化がおきようとしているがあまりよく知られていない。</p> <p>そこで、新しく変わっていく街を知ってもらい、利用してもらうための情報を発信していくことで、住んでいる人も訪れる人も楽しめる諫早市になる方策を研究した。できたものを提供するだけの視点から、経過の段階からネット環境等を利用して広く情報の受発信を行うことにより、市内外の人に興味を持ってもらえる手法について検討した。</p>

グループ4（活動期間：平成26年度～27年度）

グループ構成	活動内容
4名	<p>■テーマ「公共施設の有効活用について」</p> <p>近い将来、高度成長期に建立された公共施設の大量更新が必要となる現実について、今後将来を見据えた公共施設の管理のあり方や、職員がこれから先何ができるのか、どのような意識を持つべきなのか、先例地の取り組みなどを研究し、諫早市としての方向性を考えた。</p>

グループ5（活動期間：平成29年度～30年度）

グループ構成	活動内容
5名	<p>■テーマ「諫早市の魅力を若年層・ファミリー層へアピールするための効果的な方法について」</p> <p>若年層・ファミリー層にいかに関心を持ってもらえるか、効果的なPRのやり方について研究した。</p>